

2015年4月2日

各位

積水ハウス株式会社

新梅田シティ「新・里山」と「希望の壁」が 快適で魅力ある街並みを演出する緑地環境『SEGES都市のオアシス』に認定

大阪の都心部に位置する新梅田シティ(所在地:大阪市北区大淀中1丁目)内の「新・里山」と「希望の壁」が2015年度『SEGES(社会・環境貢献緑地評価システム):都市のオアシス』(主催:公益財団法人都市緑化機構)に認定されました。

『都市のオアシス』とは、ヒートアイランド現象等で悪化する都市環境において、人々にとって安らぎと憩いの貴重な環境となっている緑地の重要性に関する理解を普及するため、民間事業者が都市環境への貢献を目的に整備・管理する優良な緑地空間を『都市のオアシス』として、2013年度から公益財団法人都市緑化機構が緑地の「公開性」「安全性」「環境への配慮」を基準として認定しています。



認定された主な理由

- 都心にいながら約100種500本を超える中高木や200種以上の草花が咲き乱れる里山の原風景を望める。
 - 近隣住民、観光客などにも「憩いの場」として四季を通じて親しまれ地域の場としても活用されている。
 - 「新・里山」「希望の壁」を活用した環境学習などの地域貢献活動。
 - 専任のガーデナーが常駐する充実した管理体制で、安全管理にも重点を置いている。
 - 樹木医による定期巡回、専門家による生き物調査などを実施し、生物多様性に配慮した緑地の維持管理活動。
 - 企業のコンセプトである生物多様性に配慮した自社独自の「5本の樹」計画(※)の採用。
- ※「3本は鳥のために、2本は蝶のために」という思いを込めて、『里山』を手本に、日本の自生種、在来種を中心に 植栽する、積水ハウスの生物多様性に配慮した庭づくりの提案です。(2001年から開始)



「新・里山」全景



「新・里山」



「希望の壁」

【ご参考】

- ◆ 新梅田シティ内の「新・里山」と「希望の壁」は、第34回(平成26年度)「緑の都市賞」(主催:公益財団法人都市緑化機構)において、最上位の「内閣総理大臣賞」も受賞しています。
 - ◆ 積水ハウス株式会社は、大阪府、公立大学法人大阪府立大学、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所と「おおさか生物多様性パートナー協定」を締結しました。
- 「おおさか生物多様性パートナー協定」とは、生物多様性保全に率先して取り組む企業に対して、大学・試験研究機関などと連携して支援を行うため、企業による生物多様性保全活動の取組みを促す「おおさか生物多様性パートナー協定」制度を全国に先駆けて、昨年2014年度より創設されました。

「新・里山」 <http://www.sekisuihouse.co.jp/biodiversity/satoyama>

「希望の壁」 http://www.sekisuihouse.co.jp/biodiversity/hope_wall